

皆さん、時はあつという間ですよ。だから、自分の「やる気」スイッチ・オンは「ここ」ですよ。

シン破天荒



<https://www.hatenkou-ara.jp>

二〇二五年の最後に、自分の「いま」を知つて、二〇二六年の始まりに目標を掲げるのではなくて、二〇二六年の始まりが、「あるべき」自分の本当の姿の始まりとなるように、準備をしてください。

二〇二五年の社会は、負の気持ちを感じさせる

を常に伴なつた日々でした。
環境が変わればそう感じるもので、ならば「どうすること」を楽しむこともできたと思います。

「表現」

二〇二五年の最後に、自分の「いま」を知つて、二〇二六年の始まりに目標を掲げるのではなくて、二〇二六年の始まりが、「あるべき」自分の本当の姿の始まりとなるように、準備をしてください。

環境が変わればそう感じるもので、ならば「どうすること」を楽しむこともできたと思います。

国語でもよく言われている、全体を

変化はチャンス

二〇二五年の最後に、自分の「いま」を知つて、二〇二六年の始まりに目標を掲げるのではなくて、二〇二六年の始まりが、「あるべき」自分の本当の姿の始まりとなるように、準備をしてください。

環境が変わればそう感じるもので、ならば「どうすること」を楽しむこともできたと思います。

「鳥瞰」

二〇二五年の最後に、自分の「いま」を知つて、二〇二六年の始まりに目標を掲げるのではなくて、二〇二六年の始まりが、「あるべき」自分の本当の姿の始まりとなるように、準備をしてください。

二〇二五年の最後に、自分の「いま」を知つて、二〇二六年の始まりに目標を掲げるのではなくて、二〇二六年の始まりが、「あるべき」自分の本当の姿の始まりとなるように、準備をしてください。

二〇二五年の最後に、自分の「いま」を知つて、二〇二六年の始まりに目標を掲げるのではなくて、二〇二六年の始まりが、「あるべき」自分の本当の姿の始まりとなるように、準備をしてください。

二〇二五年の最後に、自分の「いま」を知つて、二〇二六年の始まりに目標を掲げるのではなくて、二〇二六年の始まりが、「あるべき」自分の本当の姿の始まりとなるように、準備をしてください。

保護者にも見せてくださいね

2学期が今日終了します

山崎高等学校八十回生の皆さん、本校で送る九つの学期のうち、早や二つの学期を終えました。時が経つのは早いものです。

入学して以来、皆さんには得たもの、失ったもの、さてどちらが多いでしょうか。

二〇二五年の終わりに夢のない話をするのものなあとは思いますが、あつという間の二つの学期を過ごし、皆さんに残された学期が実は五つであるとも考えられることに気が付いてほしいのです。

なぜならば、残された学期は七つであり私たちもそうであつてほしいのですが、多くの人は三年生一学期までの成績を使って、自分の次のステップを手に入れようとしている現実があるからです。

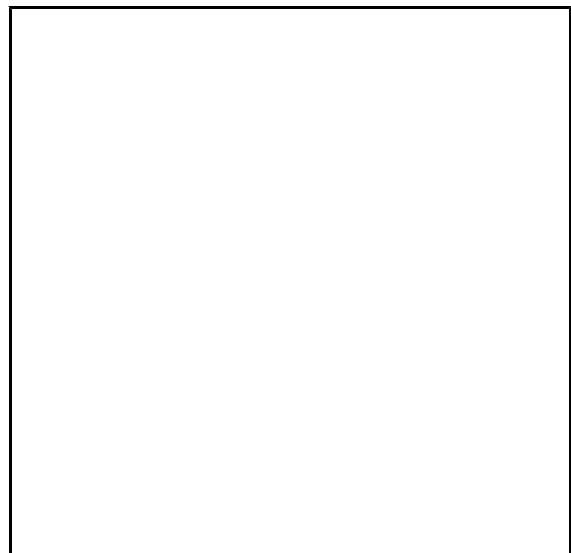
感

有

が今年の一文字として表されました。

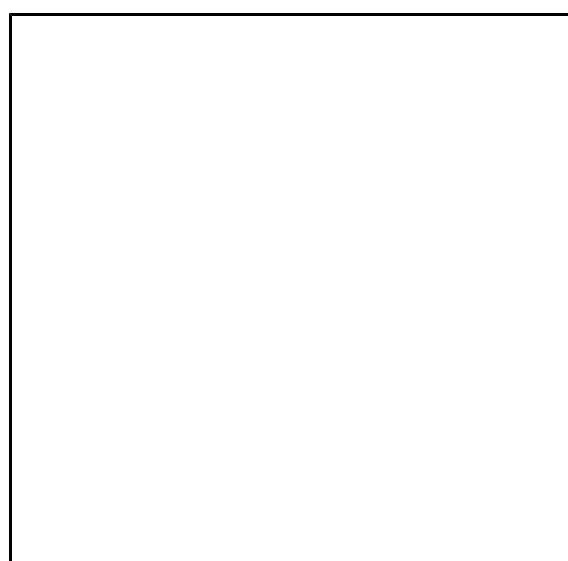
因みに、皆さんにとってはこの一年の自分を漢字一字で表すと、どんな一字になりますか。

山崎高校新任の六十歳前の私にとっては、多くの



集約するには、多くの背景が思い浮かび、そこに自分が考える優先順位が付き、それを文章であつたり文字で

十二月十二日をもつて五組担任の長生先生が産休に入れました。元気なお子さんの誕生をみんなで祈りましょう。



今年で一度練習をしたので、ならば、来年の目標で、より中身の深い漢字一文字を掲げてみましょう。

今年で一度練習をしたので、ならば、来年の目標で、より中身の深い漢字一文字を掲げてみましょう。

多く見られる気がします。公共の最後の授業で「大人になるとはどういうことか」を考えましたね。私は、大人になるとは「自分で考え行動し、その責任を取れるようになること」だと思います。そうなるためには、何が正解か悩んだり、実際に行動してみて成功したり失敗したりする経験が必要です。効率の良さを求める、正解だけを求めているようでは手に入らないものが、皆さんを成長させてくれると思います。

学年の途中で離れてしまうことを申し訳なく、また寂しいと思いますが、今後も皆さんができるふうに成長していくのか、少し遠くから楽しみに見守つています。

あまり私のことを知っている人は多くないと思いますので、簡単に私のことについて話したいと思います。

まず一つは、とにかく人の名前を覚えるのが苦手です。年齢とともにそうなっていくようですが、私の場合は昔からです。これから万が一、名前を間違ったことがあつたとしたら、また忘れてそうな顔をしている時（ただ顔を見つめている）は、やさしく名前を伝えてください。きっと覚えていくと思います（そう願う）。

二つ目は、今まで、自分の持つクラスの電波時計だけがすべて調子が悪くなることです（止まってしまいます）。別の時計を変えてもらつても同じ現象になります。いつたん別の部屋に置いておくと正常に動き出します。一回か二回なら偶然だと思うのですが、ずっとなので、また同じことにならないか心配です。何か見えないものを発しているのでしょうか。わからることは教えてください。

このようなわたしですが、今後ともどうぞよろしくお願いします。

八十回生の皆さん、約八ヶ月間ありがとうございました。
妊娠を公表してからは、教室の変更を始めとして、
皆さんに協力してもらう場面が多くありました。荷
物を持ってくれた人、黒板を代わりに消してくれた
人、「大丈夫ですか?」と声をかけてくれた人、あり
がとうございました。優しく素直なところが、八十
回生の良いところだと思います。その優しさを大切
にしてください。

八〇回生のメンバーに加わることになり、とても光栄でうれしく思います。今まで関わってきた一年生は、部活動と玄関掃除を担当している五組のみなさんのみです。しかし、偶然にもその五組の担任になるとは、これも何かの縁と考えてしまいます。もともと新しい出会いは大好きで、これからみなさんと話す機会が多くなると思うとワクワクします。これから少しづつですがみなさんのことを知つていきたいと思います。

長先生より

石岡先生をお迎えして

学年英単語ノンテスト 鳥獣戯画英単百問の乱

十一月二十六日水曜日のLHRの時間に、クラス対抗英単語コンテストを実施し、十二月三日水曜日のLHRに表彰を行いました。

四組 松井 紵奈
五組 立花 優和
なお、一名は百点満点でした。



裏面目な受験風景

表彰式 総合優勝は五組
ドッジボールのリベンジでした



クラス対抗戦は、当日に受験者した生徒の得点合計で競いました。なお、各クラス得点一位の生徒にも表彰しました。何でも競争しましょう。

A traditional Chinese ink wash painting of a plant, likely a type of chrysanthemum or peacock feather, with thick, textured green stems and small pink flowers.

一月の予定

期末考査直後の十二月十二日金曜日に、岡山大学訪問を実施しました。引率は、副主任の武友先生と進路指導部の前野先生でした。訪問を希望した生徒達での参加でしたが、生徒たちの心に突き刺さったものがこれから姿に反映されればと思います。

大学の食堂もどうでしたか。それ以上に、突然のグループ発表などよく対応しましたね。

目指すことは、前向きな強い気持ちを必ず持てるとは限りません。辛い結果を打ち破る強い気持ちが必要です。

頼わくは「きつかけ」

となる大学訪問であつたと、将来に振り返ることができるよう、祈つておきたいと思います。



岡山大学訪問

今回岡山大学を訪れて、大学での学び方について新しい発見があつた。国公立大学では、学生に対する教師の数が私立大学よりも多く、より手厚く教えてもらえたり、学費が安いため、メリットが大きいと聞いた。

また、岡山大学では異なる学部の学生達で一つのグループとなつて、一つの議題について話し合うという時間が取られていることが、特に印象に残つた。同じテーマでも、考え方や視点が異なる話し合いができるのは面白いなと思った。

自分が目指している動物系の仕事について学べる学科はないが、大学のことを詳しく調べるのに良いきっかけとなつた。狭き門で大変な仕事ではあるが、その分やり甲斐があり面白い仕事だと思う。だからあきらめずに夢を叶えたい。

今回の訪問を通して、大学では専門的な知識を学べるだけでなく、たくさんの考えを知りながら学べることを知つた。将来どんな仕事に就いても、広い視野を持ち、周囲と協力することは必要だと思う。自分の将来を考えるためにも、今回の訪問は意味のあるものだつた。

岡山大学での学びの雰囲気を実際に感じることができて本当に良かった。

(四組女子)



この経験を活かして、今後は日々の学習にもより一層前向きに取り組んでいきたいと思つた。

(三組男子)

今回岡山大学を訪問して、大学の雰囲気や学びの環境を実際に知ることができて、とても貴重な体験になつた。

キャンバスは想像していた以上に広く、緑も多くて落ち着いた雰囲気があり、学生が集中して学びや研究に取り組める環境が整つていると感じた。

大学の説明では、岡山大学が教育だけでなく研究活動にも力を入れていることや、地域社会と連携をした取り組みを積極的に行つていていることを知つた。大学は講義を受けるだけの場所ではなくて、自分の興味や関心を深めながら、社会に貢献できる力を身に付ける場であることを感じた。

また、実際に大学で学んでいる学生の話を聞くことで、大学生活の具体的なイメージを持つこともできた。

自分で考え行動する力が求められる一方で、その分やり甲斐や達成感を大きく得られることもとても印象に残つた。

今回の訪問を通じて、将来の進路について大学で何を学びたいのかを改めて考えるきっかけになりそうだ。

